

小学部 国語科 一題材の実践と振り返り



題材名：『発表会をしよう』で、体験したことが相手に伝わるように、書く内容や順番を考えて作文を書こう

授業者：豊田 眞子

学習指導要領の段階と内容

小学部3段階 B(書くこと)

題材目標

知・技	ア(エ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くこと。
思・判・表	ウ 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。
学び	言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。

知・技	『発表会をしよう』で、思い出作文を書く時、詳しく伝えるための視点がわかり、「人」「形」「場所」「色」「物」「動作」「気持ち」を入れて文章を書く
思・判・表	夏休みの思い出作文を書く時、伝えたい内容について考え、詳しく伝えるために必要な視点を判断し、「人」「形」「場所」「色」「物」「動作」「気持ち」を入れて文章を書く
学び	詳しく伝えるための視点を入れて、様々な思い出作文を書く

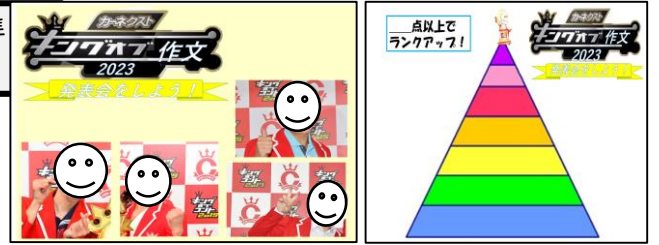
授業づくりの手順

- 前題材までの到達状況から表出像を列挙する
- 列挙した表出像を段階化する
- 段階化した表出像の一覧から、グループの在籍生徒それぞれの指導内容の範囲を決定する
- ※表出像…思考から判断の過程を経た結果、未知の課題を解決する児童生徒の姿
- 指導内容の範囲となった表出像に必要な知識及び技能を列挙する
- 各児童(生徒)の指導内容(知・技)の習得のために知識及び技能の内容を細分化・段階化する
- 細分化・段階化した知識及び技能の一覧と題材終了時までの表出像を実態表の項目として、児童(生徒)の実態を把握する
- 実態把握の結果から、中心として取り上げる知識及び技能を決定する
- 知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる
- 教材の仕組みを決定する
- 学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる
- 題材開始
- R研で毎時間の授業の評価・改善
- 題材終了
- 観点別評価の実施

教材と仕組み

『発表会をしよう』

思い出作文を書いて、グループ全員またはペアで作文を発表し合い、基準となる点数を超えるとランクアップする仕組み。



観点別評価

知・技	体験したことの写真を見ながら書く時、「ぼくは明るくて広いしたいくんれんしつでおもしろいボールころがしゲームをしました。たのしかったです。」などと、「人」「形」「場所」「色」「物」「動作」「気持ち」などを入れて文章を書くことができた。
思・判・表	夏休みにしたことを思い出して書く時、「ぼくは、たのしくあそべるきじまでうんてんできるキッズドライブで赤いくるまをつかってうんてんをしました。たのしかったです。」などと、「人」「形」「場所」「色」「物」「動作」「気持ち」などを入れて文章を書くことができた。
主体的な姿	授業や夏休みに体験したことについて、詳しく伝える視点を入れて文章を書く姿が見られた。



【知識：場所や物にかかる言葉(形や色など)】を豊かにする工夫

①

どうした	なに	どんな	どこ	どんな	だれ
に	を	な	に	な	が

視点を色分けして視覚的に提示

②

スペシャルなポテト…

塩をちょっとかけて…お店で売ってそう!

スペシャルってどんな味?

Bさん、どんなポテトだと思ったかな?

カ○ビーの…

Bさんにも伝わったね! それを書くと、くわしくてよくわかるよ!!

他にも…

詳しく伝える視点がわかるように

詳しく伝えるよさがわかるように



友だちと対話的に学習を進めるための工夫

場面設定

【展開】

ホワイトボード

課題置き場

【発展】

ホワイトボード

課題置き場

教材

採点ボードの活用

「ゲーム大会を遊びました」って言うかな?

大会はする、ゲームは遊ぶだね。教えてあげよう!

どうした	なに	どこ	だれ
			どんな
		きもち	

個と全体、それぞれで学習ができるように

目的をもって友だちの発表を聞けるように

考察

振り返りの場面で、教師がどんなことを学んだか問いかけた時、その時間に学んだ内容や言葉を抽出して書いた児童もいれば、その時間に書いた文章をそのまま転記した児童もいた。

「わかった!」場面を捉えて、教師がその言葉や内容を学んだ点として伝えることで、振り返りシートに記入できるようにする

国語

○ () 名前

△ () 名前

× () 名前

②) どのくらいできましたか。

①) どんな言葉に、気をつけて書きましたか。また、どんな言葉を使いましたか。

①) どのくらいできましたか。

②) どのくらいできましたか。

体験したことについて書く児童と、説明文を書く児童を並行して指導したが、後者の児童の気づきにつながる場面の設定が難しかった。

時間配分を見直し、書いた説明文を友だちが読んで実際に作る場面を設ける

国語の授業以外で、学習した視点を入れて文章を書く姿が見られるようになった!

視点を入れて書いたことを認め、そのよさを意味づけていくことを、日常生活でも継続する